

第63期第3回組織委員会議事録

- 1 開催日時 令和5年8月27日(日)午前10時から午後5時
- 2 開催場所 会議するなら、地区本部及び自宅(ハイブリッド開催)
- 3 出席者
 - [組織委員長]
原川佳也
 - [担当中執]
内木太一(WEB)、佐藤裕一、永山幸司、仲野裕幸、福本一也
 - [函館地本]
山本真史
 - [横浜地本]
前田義徳、小坪佑輔
 - [名古屋地本]
平松邦紀
 - [神戸地本]
井口公貴
 - [門司地本]
久保山大助
 - [長崎地本]
蔦本洋恵
 - [沖縄地本]
新里薫
 - [中央書記局]
倉本和邦(委員長)、齋藤雅記(書記長)、村岡和弥(書記次長)
- 4 議 題
 - (1) 組織拡大に向けた具体的な取り組み事項について
～令和5年度大卒の新職に対する加入懇懇～
 - (2) 今後の未加入者に対する加入懇懇のやり方について
 - (3) その他

5 議事内容

○中央執行委員長挨拶

- ・組織強化をしていかないとはいけません。そのためには、言い方・やり方を変えていかないとはいけません。税関労組だけ組織率が下がっているかということとはありません。
- ・地区本部によっては新人の加入率が 100%となっているところもあるので、地区本部間で共有していければと思います。
- ・先月の委員長・書記長会議でアップデートした話があれば共有してもらえればと思います。

○組織委員長挨拶

- ・どこの地区本部も組織率をあげるために四苦八苦していると思います。本日はよろしくお願いたします。

(1) 組織拡大に向けた具体的な取り組み事項について

各地区本部からの特記事項については下記のとおり。

[令和5年度大卒の新職に対する加入懇懇]

ア 函館

- ・令和5年大卒の加入状況は12名中7名となっている。
- ・本関と小樽は全員加入した。配属先の直上の上司が加入懇懇している。
- ・千歳支署は本関執行部が7名に加入懇懇して3名が加入している。これは普段顔を合せていない職員だったため警戒されたのかなと分析している。本来であれば暫くたって直上の上司からの加入懇懇がいいと思うが、当直がある空港はサイクルが合わなくなるので、最初の段階で説明を行っている。
- ・時間はだらけてしまうので30-40分で行っている。
- ・千歳は当初0名であったが、後日柏の研修での交流で派遣していた職員から加入懇懇したら3名が加入したものの、柏の研修所に組合員を派遣したのがよかったと思っている。

イ 東京

- ・欠席

ウ 横浜

- ・7月21日の第2回加入説明会には未加入者の参加はなく、加入者のみだったので改めて組合の説明をした。

エ 名古屋

- ・7月13日にメールしたが反応なし。
- ・名古屋役員に加入懇懇のアポを依頼し、2-3名が興味を持っているが現在夏季休暇で日程が合わないので今後調整していく予定。

オ 大阪

- ・旅具に在るが、部門の中でも新職と接点もてていない。
- ・8月7日に倉本委員長が3名に対して加入懇懇を行ったが加入にいたっていない。
- ・青年担当の2名が加入懇懇に取り組んでいく予定。

カ 神戸

- ・8月10日に令和4年Ⅲ種が1名加入した。
- ・21日の週に3班に対して加入懇懇をしようとしたが夏季休暇等で実施できず。できなかったところは来月の官執週で実施予定。

キ 門司

- ・残り未加入者の1名について8月12日に加入懇懇を実施した。組合に対して理解はあるが加入となると悩んでいる様子であった。その1名の班が4名中3名が未加入者ということがあるので、周りにも懇懇を実施していきたい。

ク 長崎

- ・若い人を前に出して警戒感を解くことが大切だと思っている。

ケ 沖縄

- ・全員加入後、脱退したいというものは今のところいない。

(2) 今後の未加入者に対する加入懇懇について

各地区本部からの特記事項については下記のとおり。

[今後の令和5年度高卒の新職、未加入者に対する加入懇懇について]

ア 函館

- ・高卒の内示が出た段階で分会と連絡をとり、やってくれる分会であれば分会宛に資料を送って依頼する。分会で実施できない場合は、青年部長と青年組織対策部長、柏の交流会に参加したものを派遣して実施する予定。
- ・加入懇懇のマニュアルを作っているが自分の言葉で伝えるようお願いしている。
- ・再加入については、委員長からメールで加入懇懇している。5名の再加入となった。

イ 東京

- ・欠席

ウ 横浜

- ・委員長と小坪さんで行う予定。当直とも調整済み。
- ・9月29日にコロナ禍職員に対して説明会を実施する予定。
- ・再加入者はできるだけ個別に対応している。

エ 名古屋

- ・今行っている高等科生のうち5名中4名が組合員なので高卒との交流会を実施してもらった。交流会では組合色を出さずに帰ってきたら組合から話がある旨を伝えてもらっている。
- ・委員長、青年部長ともう少し若い人を入れて加入懇懇を行っていききたい。
- ・7月28日に倉本中央執行委員長が令和3年高卒に対し説明会を実施。組合の必要性は分かってくれたが加入にはいたっていない。
- ・職場の部下と一緒に行動することがあり、向こうから組合の質問があるので説明をしている。

オ 大阪

- ・答申に記載しているとおり。

カ 神戸

- ・教育官と令和元年の組合員等に同席してもらって加入懇懇を実施する予定。
- ・署所オルグに併せてコロナ禍の未加入者の加入懇懇を実施していききたい。

キ 門司

- ・コロナ禍職員の加入懇懇について、来月から語学研修が始まるので加入懇懇を行っていく。

ク 長崎

- ・高等科も組合員なので交流会をしてほしい旨伝えている。
- ・9月上旬に組織率の低い支署で説明会を行う予定。コロナ禍で加入してもらっている人にも参加してもらって組合の意義を伝える予定。

ケ 沖縄

- ・大卒と同様の方法で行う予定。
- ・基本的に再加入は入ってくれている。

[海事、行二、医（三）職及び非常勤に対する加入懇懇について]

ア 函館

- ・特になし

イ 東京

- ・欠席

ウ 横浜

- ・特になし

エ 名古屋

- ・特になし

オ 大阪

- ・特になし

カ 神戸

- ・特になし

キ 門司

- ・特になし

ク 長崎

- ・非組合員の医（三）の方が1名いるので加入懇願していきたい。

ケ 沖縄

- ・特になし

(3) その他

- ・加入懇願基礎資料の活用方法について倉本中央執行委員長から説明があった。
- ・コロナ禍での研修状況について倉本中央執行委員長から説明があった。
- ・公務労協が人事院に対して行った「非常勤職員制度の運用の在り方の検討」ヒアリングについて齋藤書記長から説明があった。
- ・HPのリニューアルの進捗状況について村岡書記次長から説明があった。

以上